

復興大臣視察来訪、地方創生・雇用創出で復興支援、SDGs に貢献 宮城県東松島市の農産物栽培拠点「幸 満つる 郷 KDDI エボルバ 野蒜」

株式会社 KDDI エボルバ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：若槻肇、以下 KDDI エボルバ）の東日本大震災元地を開拓、利活用した農産物栽培拠点「幸 満つる 郷 KDDI エボルバ 野蒜（宮城県東松島市、以下幸満つる郷）」に、『令和の果樹の花里づくり構想』にむけた復興状況の視察として、田中和徳復興大臣が2020年7月17日に来訪されました。

このたびの来訪では、復興庁統括官 石塚孝氏をはじめ、宮城県復興局長 英直彦氏、東松島市長 渥美巖氏、関係者の皆さまに「幸 満つる 郷」の農産物栽培畑やビニールハウスなどを見学いただきました。当社は、視察、意見交換会を通じて、津波被害を受けた野蒜地域の復興支援につながる地元の障害者雇用創出や、地域で採取した種子を苗木に育て植樹する自然再生活動への参画等の地方創生の取組みを紹介いたしました。



＜無農薬栽培ベビーリーフを栽培するビニールハウスを視察する田中復興大臣（手前中央）＞

視察、意見交換会の中で田中復興大臣より「障害特性に合わせた仕事の取組み方」「勤務形態・通勤方法」などのご質問をいただきました。また、『日本が超高齢の課題を全国的に抱える中で、被災元地の障害者とアクティブシニアを率先雇用し、農業の独自化と販路開拓まで取り組んでいることは素晴らしいことです。』とお言葉をいただきました。

2017年に開所した幸満つる郷では、津波被害で石や瓦礫が埋まり、海水が染み込んだ野蒜地区の一角を開墾、土を入れ替えて畑として利活用できる土壌に育て、20品目以上の作物を栽培しています。

地域活性化イベントの開催や収穫野菜・地元食材の販売、IoT農業を導入した障害者とアクティブシニアの方々に働きやすい職場づくり、復興支援につながるプロジェクトへの参画等に取り組む、SDGs 未来都市である東松島市の持続可能なまちづくりの推進に貢献しています。

KDDI エボルバは、今後も、地域との連携を深めた地方創生と雇用創出の活動を通じて、東松島市の復興支援に取り組んでまいります。

■ 幸満つる郷 視察風景



＜幸満つる郷の事業所内を視察する田中復興大臣（右）＞



前列 左 幸満つる郷 溝江所長、中央 田中復興大臣、右 KDDI エボルバ 両角会長
後列 左から KDDI 齋藤地方創生支援室長、宮城県議会高橋議員、東松島市議会大橋議長、東松島渥美市長、KDDI 松嶋東北総支社長

■ 幸 満つる郷 KDDI エボルバ 野蒜について

所在地 : 〒981-0411 宮城県東松島市野蒜字西余景 8-6
開 所 : 2017年5月
取組み : 東松島市における地方創生、障害者雇用創出を目的とした農産物栽培を通じた「地域活性化事業」
面積 : 28,558.86㎡（楽天球場 2.3 個分）、作付面積：19,000㎡
紹介 URL : <https://www.k-evolva.com/recruit/challenged/nobiru/>

■ 株式会社 KDDI エボルバ について

本 社 : 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-23-7 新宿ファーストウエスト
設 立 : 1996年5月
代表者 : 代表取締役社長 若槻 肇
資本金 : 1億円（KDDI 株式会社 100%出資）
事業内容 : コンタクトセンターを中心とした BPO(Business Process Outsourcing)事業
企業 URL : <https://www.k-evolva.com/>